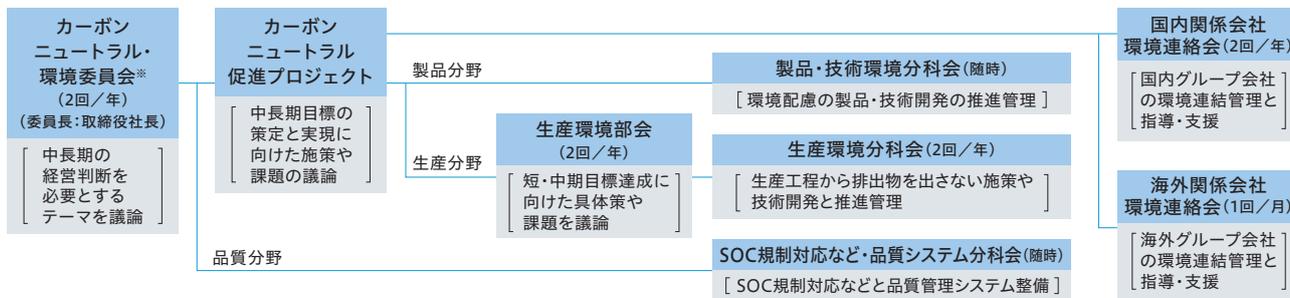


■ 推進組織

環境に関する中長期方針や重要な取り組み事項は、社長を委員長とする「カーボンニュートラル・環境委員会」で審議・決定しています。委員会の下部組織は、製品・生産・品質の分野で構成される3つの分科会があります。さらに、生産分野では、モノづくり全体からの環境

環境組織体制図



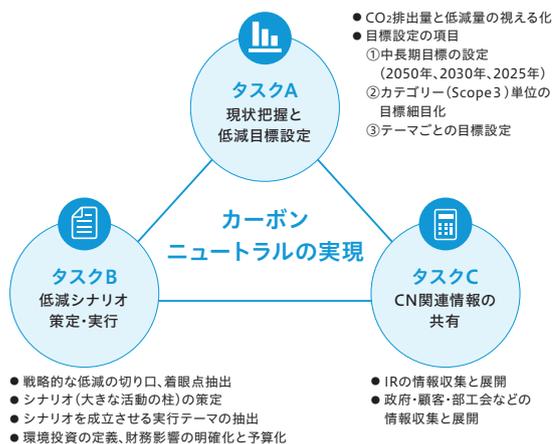
※カーボンニュートラル・環境委員会の位置づけは、「コーポレート・ガバナンスの体制図(P71参照)」による

カーボンニュートラル・環境委員会、生産環境部会各分科会から工場などへの展開は、各工場ISO14001システムなどに従い専門委員会を設置して対応しています。

■ カーボンニュートラル促進プロジェクト

社長をトップに、社外取締役をアドバイザー、関係部門長がコアメンバーとして、部門横断のカーボンニュートラル促進プロジェクトを立ち上げ、製品ライフサイクル全体で即断即決し、活動できる体制を推進しています。

体制	社長をトップに、プロジェクトリーダーを副社長が務め、コアメンバーを部門長以上で構成し、スピード感をもって経営的な判断を即断即決で推進できる体制
活動	各タスクは関係部門長がリーダーとなり活動を推進



■ カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミー戦略

製品のライフサイクル全体でカーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーの戦略を立て取り組みを進めています。Sustainable Materials【材料】、Sustainable Design【設計】、Zero Emission Challenge【モノづくり】、Resource Circulation【回収・再生】を目指す姿とし、4つの切り口で具体的な内容に落とし込み、カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーの実現を目指しながら、ビジネスにつなげていきます。

材料	安定供給も考えた再生材調達やバイオ材の利用拡大などを図っていきます。
設計	軽量化設計をはじめとして、易解体設計、コンパクト設計などを図っていきます。
モノづくり	日常改善はもとより、工程のコンパクト化・熱エネルギー低減など革新工程の導入や水素利活用の検討も進めています。
回収・再生	工場内の廃棄物の極小化を計画的に進めるとともに、市場からの部品回収のシステム構築なども進めています。

カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミー戦略

